

アメリカの将来

今日の預言アップデートでは、アメリカの将来について、主が語られているのを感じています。この国が向かっている方向を示すかのような、最近の出来事を通して、それをお伝えしたいと思います。特に、トランプ大統領就任初期の段階での、イスラエルに関するアメリカの政策の転換に関連してです。今日、みなさんと集う時間の中で、ある質問に対する結論に至ればと願っています。アメリカについて、最もよく問われる質問です。その質問とはこれです。

再び偉大になったアメリカが、聖書預言に出てこないアメリカと、どのように繋がるのか？後ほど、それに戻りますので、覚えていてください。

まずは、このニッキー・ヘイリーに関する、Breaking Israel News の記事から始めたいと思います。みなさんは、あの動画をご覧になったかどうか分かりませんが、これが素晴らしいのです。彼女は、新しいアメリカの国連大使で、その彼女が、国連安保理会議に初参加の後、恥ずべき国連のイスラエル偏見だと酷評しました。そして、その中で彼女は、「これらは、変わる」と誓ったのです。発言のいくつかを引用します。

——「まず初めに、私たちがここで目撃したことを、お伝えしたいと思います。」

国連安保理会議の事を言っています。

——「中東問題に関する通常会議は、“かなり奇妙”でした。安保理会議とは、国際平和と安全を話し合うものであるはずです。」

そのまんまですよ？ちなみにこれは、国連の一部で、国連安全保障のホームページを見れば分かります。ヘイリーは伝えています。

——「しかし、会議では、あの地域で最も差し迫る問題には、どれ一つとして触れる事はありませんでした。議題は、ヒズボラがレバノンに不法で建てたロケットについてでもなく、イランが、テロリストに提供している資金や武器についてでもなく、どのようにして ISIS を撃退するかでもなく、どのようにして、バッシュール・アル＝アサドに、何百人、何千人という国民を惨殺して来た事への責任をとらせるかでもなかった。そうでなく、その代わりに、議会はイスラエル批判に終始していた。中東で唯一、真の民主国家です。ここでは、私は新人ですが、それでも議会在このようにして、毎月毎月何十年も運営されてきたという事は、私にも分かります。」

さらに彼女は続けます。

——「ご都合主義には、息をのむほどだった。」

彼女は続けて、最近国連が、イスラエルでのテロ攻撃を非難しなかったことについて触れました。

——「国連安保理は、他の国に対するこのような攻撃に対しては、ためらわずに批判するが、イスラエルに関しては、それをしない。発言は遮断され、それこそまさに恥ずべき事だ。」

「アメリカ合衆国は、私たちの友好国、味方国であるイスラエルを、ためらわず、このような偏見から守る。」

これは、創世記 1 2 章 2-3 だと言えませんか？これは、アメリカにとっては良い兆候ですよ。イスラエルを祝福する事で、この国に神の祝福が与えられる。今がその時です。彼女は良く言いました。

ご想像のどおり、これが大反響です。この新しい国連大使と、それから The New York Sun はこれを“ハレー彗星”となぞらえました。これが面白いのです。記事を引用します。

——星が生まれた：これがトランプ政権国連大使の、最初の記者会見後の反応だ。サウスキャロライナの元議員は、大統領より候補に挙げられた時、外交政策のパンチが足りないと、左派に馬鹿にされた。しかし、彼女は、中東に関する、国連安保理定例会議の後の記者会見で、その集団にしっかりと警笛を鳴らし、南部の魅力的な笑顔とともに、厳しく釘をさした。——

私が面白いと思ったのは、ハレー彗星（ニッキー・ハレー）がトランプとネタニヤフのホワイトハウスでの驚きの会見の後に登場した点で、なぜこれが面白いと思ったかと言えば、親イスラエル派、親クリスチャンの新しい執行官の存在を、さらに証明しているからです。

しかし問題があるのです。何が問題か？それは、サタンとその悪魔が、黙って手をこまねいていないという事です。その代わりに、この新しい執行官と、彼を愛し、支持するユダヤ人とクリスチャンを破滅させる為の、悪霊の攻撃を全面的に開始しました。

昨日のアルツシャバが報じたのは、魔女たちが、トランプが退陣するように、呪いをかけたということです。これ聞きましたか？記事によると、

——自称魔女たちは、歌手の Lana Del Rey と共に、真夜中のニューヨークのトランプタワーの前に集合し、ドナルド・トランプ大統領に対して、呪いをかけた。——

面白いのが、“三日月の下”で、です。ちなみに三日月とは、イスラムのシンボルですよ。驚きますか？アッラーは、月の神です。

——世界中の魔女たちが方々から参加して、トランプが大統領から退くように——

これが面白いのですが、

——トランプと、彼を支持し援助する者たちの“手を縛る”ようにと、呪いをかけた——

それから記事は、続けています。

——保守的クリスチャン達が、これらの“儀式”を霊的な戦い宣言だと非難。——

私も賛成です。

この、霊的戦争の宣言に対する非難は、今まだに起こっている事です。また、この現在起こっている事は、この国では、これまでになかったものだと思います。魔女たちが、トランプに対して、呪いをかけているだけでなく、リベラル派メディアの、トランプに対する戦いも勃発しています。私の友達のアミール トサルファティの表現が私は大好きで、彼はメディアを、メディア人（エズラ書 6:2、ダニエル 8:20etc）と呼びます。見事な形容ですね。

Jerusalem Post は木曜日、とても面白いコラムを掲載しています。アメリカ社会が、崩壊に向かってまっしぐらに進んでいる件についてです。引用します。

——ほんの1週間ほど前、Fox NewsのBill O'Reilly氏が、歪めた報道の仕方を、ツイッターで激しく批判した。彼らは、銃犯罪を起こして国外追放となった不法移民を、罪の無い可哀そうな家政婦や、母親、店員のように描いて報道。彼は言いました。「これは、メディアのトランプ報道が、ただの偏見を通り越して、あからさまな嘘である事を証明している。」——

この中に含まれている悪霊の業を考えると、これでもまだまだ優しい言い方です。

——O'Reillyは、最後にこう宣言して締めくくりました。「この国を破滅させようとする、過激左派の、過激な要素が、この国の中に存在する。これが続いたら、いずれ崩壊に到達するだろう。この脅迫と同じくらい激しく、トランプ効果のカギとなる人の立場を阻止しようとする、民主主義による容赦ない攻撃は、メディアは“扇動者”の兵士たちを通して、数々の逸脱した作り話を主張し、大統領が無能であると証明しようとしている。この、扇動者の兵士たちは、オバマの戦闘組織が派遣した、現場扇動員たちだ。」——

なに！？みなさんご存知ないですか？オバマの戦闘組織？そうです。だから、彼はワシントンDCに残っているのです。

「いや、あれは、娘さんたちを同じ学校に通わせるためでしょ？」

ホントに！？違います。そんな事を信じて騙されるなんて、世間知らずではいけません。「サタンの策略において、無知であるな」とパウロは言いました。

“私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗闇の世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。”(エペソ6:12)

この格闘は、共和主義、民主主義の戦いではない。この格闘は、イスラムに対するものでもなく、この格闘は、エペソ6章に書かれた4つの実在に対するものです。記事は続きます。

——ということで、国中各地の市役所を混乱させる為、オバマが取りまとめた戦闘組織から、この地上扇動員が送り込まれ、国家は、民主主義に賛同しているように見せかけている。まさしく、大統領に対する戦いが、様々な方面から起こっているようだ。——

市役所での抗議デモを見ましたか？彼らはみんな、お金をもらってやっているのです。彼らは、創り上げられた意義を生み出して、「誰も、トランプに賛同する者はいない。」と言う。居ますよ！！

今夜何かのセレモニーがありましたよね？アカデミー賞。だから、これらすべてのゴタゴタが、どれほど政治を絡んでいるか。ある女優が言いました。ところで、彼らの救いも祈らなければなりませんよ。これらの女優達は、私たちが子どもの頃から、テレビや映画で見てきた人たちですよ。しかもとても良い役者なのに、その人が舞台上に上がって言いましたよね。メリル・ストリープという名の女優です(受賞式スピーチでトランプを批判する発言をした)。あれを見て、みなさんは自問自答しなければなりません。なぜか？と。どうして彼らは、トランプをそれほど嫌うのか？みなさんはどう思いますか？記事は続きます。

——トランプは、メディアと、民主主義との戦いを終わらせる事は出来ない。彼が、しかけたものでは無

いからだ。もしこの戦いが終わらなければ、メディアが厳しく制限され、さらに過激になって、アメリカの民主主義が妨害されるか、もしくは、正しい政治的感覚を持つアメリカの次期指導者がさらに進み出て、アメリカの正真正銘の保守派を駆り立てるか。いずれにしても、O'Reillyの言う、崩壊に達するだろう。アメリカの為に、また世界の為に、私はこの偉大なる国が目覚ますようにと祈ります。――

みなさんも、どうか祈ってください。私も祈ります。私は、アメリカが目覚ますように祈ります。アメリカが崩壊しない様に、祈ります。でもこれこそが、今日私たちの目の前に置かれている問題ではないですか？この質問には、2つの側面があります。

アメリカは目を覚ますのか？

アメリカは崩れるのか？

もし、アメリカが目覚めて、再び偉大になるとしたら、再び祝福されるなら、質問は、

「主の来られるのは、私たちが期待したよりも、遅くなるのか？」

また逆に、もしアメリカが崩壊するなら、その場合は、

「主が来られるのが、私たちが思っている以上に、早いことを意味するのか？」

私は、この質問をしょっちゅう聞かれます。恐らく、これは言うまでもなく、どちらも、アメリカ合衆国が、聖書預言に出てこない事が前提で話されています。

そして、先の質問に戻るわけですが、再び偉大になったアメリカが、聖書預言に出てこないアメリカと、どうつながるのか？私が思うに、アメリカが目覚めようと、崩壊しようと、聖書預言に出てこないアメリカと容易に繋がります。これについて説明しましょう。

もしアメリカが崩壊した場合、まったく力がなくなります。もし目覚めた場合、私たちは挙げられます。そして、この国はどちらにしても崩壊し、力を失うのです。

Mark Hitchcock が彼の著書「The Late Great United States」でこのように書いています。

――ラッパの音と共に、アメリカ合衆国の全ての信者が姿を消すと、アメリカの最後の時は、たくさんの紙がブラブラと下がる、12月のカレンダーのようになる。偉大な力を前に、アメリカは、自身の身勝手と不品行の重みに崩壊する。――

これらの事から、結論です。

一つ目。みなさんは、これらを「親イスラエル派のトランプ」のレンズを通して見てください。アメリカは、イスラエルとユダヤ人国家が、敵に囲まれた中で生き続けるために、最後まで防御出来る強い国だということになる。

二つ目。聖書には、携挙後終わりの時のアメリカについて、何も語っていない。その事から、アメリカは世界の卓越した国としての位置を失う。

三つ目。ヨーロッパの卓越は、唯一アメリカの後退によってのみ、つじつまが合う。

四つ目。アメリカ合衆国は、後退に苦しみ、そして教会の携挙によって崩壊。恐らく、(よく聞いてください)他の激しい交代と合わさって起こるのだろう。

私が強く信じていることがあります。またこの思いは、日を増すごとにますます強くなりますが、「突如の破壊」として、襲うと思います。Joel Rosenbuerg がその著書「Implosion」で書いているのは、アメリカが聖書預言に出てこない理由としての、4つの憶測です。彼が書いている内容をよく聞いてください。——終わりの時、預言的出来事の中で、アメリカがカギとなる役を担えないか、担わない理由として4つのシナリオが考えられる。

一つ目は、経済的破綻。アメリカが、金銭的、経済的に破綻する。

二つ目は、戦争、またはテロ攻撃。アメリカは、軍事的もしくは、テロの奇襲、またはその連続によって絶望的になる。

三つ目は、自然災害。アメリカは、前代未聞の大災害に立て続けに襲われる。

四つ目は、携挙。アメリカは携挙が起こると、突如何百万人、もしくは何千万と言う人を突然失い、残されたアメリカの人々は、絶望的な状況の陥り、様々な大惨事を引き起こす。——

私は四つ目を望みます。ぴったり当てはまるのが分かりますか？アメリカの運命に関しては、まだ結論が出ていませんが、教会の携挙によって、アメリカが弱体化するというのが、とても信憑性があるように思えます。しかしながら、経済崩壊の点で見ても、また信憑性があり、もしくは国内攻撃もです。最近の霊的戦い宣言によって、国として崩壊するのもかも知れない。それは、さらにひどくなると思います。この先、数日、数週間のうちに、この親クリスチャン派、親イスラエルは大統領に対して、地獄からさらなる悪霊の勢力が放たれるでしょう。

ところで、彼が周りに置いている人たちは、みんなしっかりとしたクリスチャンです。新生し、イエスキリストを信じるしっかりとしたクリスチャン達です。マイク・ペンス副大統領の二つの演説には、本当に驚き、感心しました。1つはドイツのミュンヘンです。もう1つは、ついこの間のCPAC（保守政治活動会議）です。彼は主を知っており、神を愛していて、神に仕え、とても謙虚な人です。彼は、クリスチャンたちが祈ったからトランプが選ばれ、彼が副大統領に選ばれた事を理解しています。そして彼は、この国が今日立たされている岐路についても、しっかり見えている。これまでに無かったほどの戦いが起こったとして、驚きますか？

あまり映画の話をするのは、好きではありませんが、ある映画の話をしてします。バスケットボールで負け続きのチームが、全ての敵を打ち負かして、決勝戦に進み出たのです。その時、自信過剰で高慢なコーチが、自分のチームに向かって言うのです。「この、どこからともなく登場した負け続きで無名のチームが、自分達と同じコートで戦うとは！」そして、コーチはチームの選手に、自分たちがあのチームに負けそうだという事が信じられない様子で言います。「お前たち、驚かないのか？あいつらは、勝つためにやって来たんだ！」「驚かないか？あいつらは、バスケットボールをやりに来たんだ！」

どうして私がこれを思ったかと言うと、クリスチャン達も言っているでしょう？「どうなっているんだ？！驚きじゃないか？」敵が、ものごとの加速度を増している！

結論です。アメリカがどうなるのか、また、いつそれがアメリカで起こるのか、私たちには分かりません。だから、私たちは準備が出来ていなければなりません。イエスは言いました。

“だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は思いがけない時に来るのですから。”
(マタイ 24:44)

トランプが大統領になってから、クリスチャンはヒラリーが大統領になった場合と同じくらい、主の来られるのを待望しているのでしょうか。考えてみてください。まるで、集団でホッと一息ついて「ハレルヤ！」というような、「まだ時間はある」と言っていないんですか。

もう時間は要りません！！

これが、どれだけ危険だか分かりますか？私たちが何らかの形で、まだ時間があると考えたら、私たちは、マタイの福音書 24 章でイエスが話した、悪いしもべのようになるのです。彼らはこう言いました。

“「主人はまだまだ帰るまい」”(マタイ 24:48)

そして彼らは何をしましたか？宴会騒ぎですよ！

“その仲間を打ちたたき、酒飲みたちと飲んだり食べたりし始めている。”(マタイ 24:49)

主人はまだ帰って来ないんだ。急ぐ事はない、心配いらないんだと。それに対して、良いしもべとは、主人が帰ってきた時に、義と認められます。なぜか？それは、彼は準備が出来ていたからです。彼は準備が出来ていたのです。彼は、目を見張っていた。彼は、ともしびの油を備えていたのです。彼は、出発の準備が出来ていた。いつ、何時にでも起こり得るのです。それは、私が思いもしない時に起こる。だから、備えておかなければならない。それを私は心配しているのです。だからトランプが当選した時以来、私はずっと葛藤しているのです。それは、大統領になった人物の為に葛藤しているのではなく、彼が何をしようとしているのか、すでに、私たちも良い例をたくさん目にしてきました。私の葛藤は、クリスチャン達がここへ来て突然、「急ぐことはない」「心配ない」と言いだすことです。また良き時代の到来だ、そんな歌がありましたよね？再びよい時代がやって来たと。

あと一つだけ、伝えたいことがあります。私が高校三年の時、父親はその学校の教師で、私は教師の子だったのです。それが問題で、私はとても反抗的でした。当時、私はまだ救われていなかったのです。卒業してから救われましたから。ちなみに、ギリギリでなんとか卒業できたのです。その後 19 歳で救われました。それはともかく、私はとても反抗的で、停学になり、もう少しで退学になるころでした。それが結構自慢でもあって、なかなか大変だったのです。でもある先生が、クリスチャンではありませんでしたが、私に同情してくれて、私を呼び出してこう言ったのです。

「卒業しても本当の意味で、卒業しきれていない人が居るでしょう？過去の中に生きる人たち。高校時代が人生で最高の時で、いつまでも高校時代の上着を着て、クラスの記念指輪をつけている人たち。もうサイズが合わなくても。でも、君はそのタイプではない。」

まさにその通りです。私は、早くそこから離れたくて、早く卒業したくて仕方なかったのです。よく言うのですが、と言っても自慢ではありませんが。だた、みんなが書く高校の“モットー”と言えば「虹の向こうに金がある」でしょう。でも私のは、「卒業証書を貰うため、昏睡状態から覚めてきた」

言っておきますが、自慢しているのではありませんよ。ただ、私はそんな状態だったと言いたいです。学校が嫌いで、学校にいるのが嫌で、ただ時間の無駄だと思っていた。アホみたいな事ばかり教えて、時間の無駄だ！ 退屈で、現実世界では、何一つ人生に適應できない、とっていました。ものすごい態度ですよ。神が私を私から救うはずです。でもこの先生が言ったのです。

「高校が大好きなら、ここを去りたくないでしょう。でも、ここはあなたにとって良い場所じゃないから、あなたは去りたいのね。」

あれからずっと後になってから、これを思い出しました。なんと、クリスチャンにふさわしい言葉だろうかと思ったのです。もし、この地上が良い場所なら、私たちはここを去りたくない。もしも、この地上があまり良くなければ、私たちは言いませんか？

「主よ、早く来てください!!!」

ものごとがうまく行かないと、「主よ来てください!」と言い、うまく行っている時は、「急がないで」と言います。妻と結婚する前は、こう祈りました。「主よ、結婚するまでは来ないでください!」でも結婚したら、「主よ、今来てください。今!」「マラナター!!!」ダメですか？

それが私の恐れ、私の心配、私の葛藤です。クリスチャン達が、「また良い時代だ」と考え始める。「また良い時代がやって来た」と。そして、家に帰りたくなくなる。でも私は帰りたい。私の主が来られるのを、遅らせないでください。

さて、この「備えをせよ」という忠告が、私たちの人生に、実に大きな影響を与えるのです。そして、私たちの中で大きな希望となり、それによって、私たちは自分を清めます。これが、今日のクリスチャンが期待すべき事だと思います。ヨハネは、第一ヨハネ 3:2 でこう書いています。

“愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストと似た者になることが分かっています。なぜならそのとき、私たちは、キリストのありのままの姿を見るからです。” (第一ヨハネ 3:2)

そしてこうあります。

“だれでも、キリストに対するこの望みをいただく者はみな、キリストが清くあられるように、自分を聖くします。” (第一ヨハネ 3:3)

どういう意味か？ あたなの行動を正すのです。真剣になる。用意をするのです。さらに言えば、今から用意を整えては遅すぎる。もう用意が出来ていないと。準備 OK ですか？ これは信者に向けてです。

しかしもし、あなたが主の御名を呼び求めて救われていないなら、どうか今日、それをしてください。これは、子供にでも分かるほど簡単な、福音のプレゼンテーションです。「子供じみた」でなく、「子供のような」救いの ABC です。

ところで、プレイズレポート（朗報）があります。きっとみなさんも、すごく喜び、励まされると思いま

す。この聖書預言をオンラインで観て、世界中で人が救われ、キリストに立ち返っているのです。先週日曜日、一人が救われました。オンラインで今、新しくイエス・キリストを信じた人々に弟子訓練しているのです。だから、私たちはこれをするのです。そのためにこれをするのです。そうです!ハレルヤ!!
主を知り、主を知らせる為にです。

「救いのABC」とてもシンプルです。

A=Admit (認める)

あなたが罪人で、救い主が必要であることを認める。または認識するのです。

B=Believe (信じる)

イエス・キリストが主であり、十字架にかかり、葬られ、3日目に墓からよみがえられたことを信じる。もっとすごいのが、今は御父の右手に着座されているのです。それから、彼は戻ってこられます。もうすぐ、本当にもうすぐだと思えます。

次にCは、あなたがすべき事、とても重要な事です。

C=Call (呼び求める)

主の御名を呼び求める (Call) のです。ローマ 10:13 は、あなたとわたしに約束してくれています。

“主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。” (ローマ 10:13)

“きっと” じゃなく、“多分” でもなく、“そのはず” でもない。

私も呼びました。35年前です。私も主の御名を呼び求めて救われた。その時、聖霊によって新しく生まれ変わり、あれから一度も振り返った事はありません。35年前です。今日は、あなたの日かも知れません。今日があなたの救いの日かも知れません。そうなるようにと祈ります。

祈りましょう。

愛する天のお父様。ありがとうございます。全てを贖われた、永遠のいのちに感謝します。あなたは、この世を愛しておられるために、ひとり子を与えてくださいました。そのため、誰でも信じる者は、永遠に滅びる事なく、天であなたと永遠に過ごすいのちが与えられます。主よ。今日、ここにこれまで一度もあなたの御名を呼び求めた事のない人が居るなら、今日、あなたに心を開き、心で信じて、イエス様あなたが主であると、口で告白して救われますように。また私たち信者にとっては、木曜日第二歴代誌で学んだ、52年治めた正しい王ウジヤのように。彼は、実によくがんばりました。あなたの道を歩み、あなたの目に美しい事をし、実に長い年月をあなたと共に歩んだにも関わらず、あなたに対して大きな罪を犯し、正しく終わらせることが出来ませんでした。

主よ。私たち長年主と共に歩んでいる者の為に祈ります。私たちが生ぬるくなった、ラオデキヤの教会 (黙示録 3:14) のようにならない様に。または、最初の愛を離れてしまった、エペソの教会 (黙示録 2:1-) のよ

うにならないように。主よ。私たちが、フィラデルフィアの教会（黙示録 3:7-）のように、あなたに言ってもらえるように祈ります。“あなたには少しばかりの力があって、私のことばを守り、私の名を否まなかった。だから、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。”

主よ、感謝します。あなたの言葉をありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

へブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい